

五泉市

議会だより



第66号

令和5年
1月25日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911 (内線370) FAX.0250-43-2716



令和4年度五泉市三十歳の集い（さくらんど会館）

議長あいさつ (年頭のあいさつ)

議長

林 茂

副議長

佐藤 渉



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの国内初の感染症例発生から三年が経過するものの、未だに収束の兆しが見えない中、また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、原油価格や物価が高騰し、市民の皆さまの生活や経済活動が大きな影響を受けています。

このような状況において、迅速で的確な施策が実現できるよう各議員が地域の皆さまのご意見をもとに市政に反映させることが我々に課せられた責務であると考えております。

市議会と当局は車の両輪に例えられますが、議会としての立場を明確にしなが、安心して暮らせる豊かなまちづくりを目指し、スピードと実行力での対応してまいります。今後も引き続き、市民の皆さまの声を十分にお聴きしながら、課題の解決に向け誠心誠意尽くしてまいります。

新春に臨み、本年が皆さまにとりまして辛多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



令和4年 第7回

10月17日 臨時会

ごせんスマイル飲食券発行支援事業に関する予算など2議案を審議

令和4年第7回臨時会が10月17日に開かれました。
慎重審議の結果、交通事故による損害賠償額に関連する補正予算や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの補正予算について可決をいたしました。

主な議案の議決結果【第7回 10月17日臨時会】

【○：賛成，●：反対，－：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議案概要																			
			議員名（議席番号順）																			
			1大橋建太	2佐藤良徳	3山田正良	4波塚静亮	5深井邦彦	6桑原一憲	7白井妙子	8今井博	9（欠番）	10佐藤浩	11長谷川政弘	12伊藤昭一	13佐藤利栄	14牛腸良民	15鈴木政一	16熊倉雄吾	17剣持雄貢	18羽下周夫	19阿部茂	20林
市議第91号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長議第92号	令和4年度五泉市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 法律に特別の定めがある場合を除くほか、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加っていません。



編集後記

主な議案の議決結果

発議

請願

県内先進地調査報告

一般質問（9名）

当局報告

建設産業常任委員会

市民厚生常任委員会

総務文教常任委員会

委員会審査報告

第8回12月定例会

第7回10月臨時会

◆目次

12

11

10

10

9

6
9

5

5

4

4

3

2

ページ

12月 定例会

令和4年度各会計補正予算等35議案を審議

令和4年第8回12月定例会が12月1日に招集され、12月16日までの16日間の会期で開催されました。

初日の1日は、会期の決定、議長報告、当局報告、議案1件を審議・可決した後、市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の2日は、引き続き市政一般に関する質問を全て行いました。

3日目の5日は、議案19件を一括議題として当局が提案説明を行い、議案に対する質疑後各常任委員会に付託しました。また、請願1件を所管常任委員会に付託しました。

最終日の16日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて討論、採決が行われ、それぞれ可決しました。その後、教育委員会委員の任命と人権擁護委員の推薦に関する人事案件3件、日程追加された、市長からの追加議案10件、議員発議1件、議員派遣を審議・採決して閉会しました。

12月定例会の日程

月 日	内 容
12月1日(木)	本会議（開会、会期決定、議長報告、当局報告、議案審議、一般質問）
2日(金)	本会議（一般質問）
5日(月)	本会議（議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
7日(水)	総務文教常任委員会、建設産業常任委員会
8日(木)	市民厚生常任委員会
16日(金)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議、発議、議員派遣、閉会）

総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

**チャレンジランド杉川の
使用料値上げについて**
【生涯学習課】

問 チャレンジランド杉川は社会教育施設である以上、市内の子供たちが使用することを第一に考えるのが正当だと思いが、いかがか何う。

答 市内の小学校等が利用する場合は無料で利用でき、今年度の利用者のうち、市内の子供が占める割合は約七%で、市外の子供が占める割合は約十八%であり、市内の子供の利用はともも少ないという状況である。

要望 五泉市の社会教育施設として、緑の中で子供たちを育むのだという方針でこの施設を運営してきたはずであり、子供たちの利用を促進する努力をするのと同時に、値上げにより使用する方が減らないようSNSなど

◎熊倉 政一 牛腸 利栄 波塚 静亮
○深井 邦彦 長谷川政弘 山田 正良

でしっかりとPRをし、数年で施設の閉鎖などとならないよう努めていただきたい。

**さくらんどう温泉とそくら
んど物産直売所の指定管
理者の指定について**
【財政課】

問 指定管理者に応募した事業者は二者あったとのことだが、さくらんどう温泉グループに決定した大きな要因について、指定管理者選定委員会ではどのような話があったのか何う。

答 選定委員会では、応募した二者それぞれから、プレゼンテーションを受けながら各委員が質問をして、それぞれ点数を付けて決定した。点数を付ける前に、各委員の意見交換はしたが、二者のうちどちらがどうという意見はなかった。

(◎委員長 ○副委員長)

市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

**五泉市手数料条例の一
部を改正する条例の制
定について**
【市民課】

問 全国のコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機において個人番号カードを用いて各種証明書を取得できるサービスで、交付手数料を窓口より五十円減額することになった理由について何う。

答 個人番号カードを利用した利便性の高い行政サービスをアピールすることで、カードの普及がさらに高まること、また利用者希望する時間帯で交付が行えることや、簡易な証明等をコンビニに集約することで市役所では専門的な業務に特化できる職員体制を構築できるといったメリットがある。一方で、手数料歳入が減少することやコンビニ交付の委託手数料が一件百十七円かかるというデメリットも考慮し、五十円の減額とし

◎剣持 雄吾 林 茂 今井 博 大橋 建太
○桑原 一憲 佐藤 浩 佐藤 良徳

問 令和五年三月に事業開始予定との説明であるが、進捗状況及び事業の周知方法について何う。

答 テスト等を行い三月実施に向けてさらに準備を進めていく。市民への周知については市広報誌やホームページ、市内のコンビニエンスストアでの周知を行いたい。

**個人番号カード交付事
業について**
【市民課】

問 目標としたマイナンバーカードの交付率四三・五%を達成したということで今後の数値目標について何う。

答 将来的には一〇〇%というのが目指すべき数字であるが、全国平均が令和四年十一月末現在五三・九%ということで全国平均に達することがまずは目指すべき目標になる。

(◎委員長 ○副委員長)

建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎伊藤 昭一 阿部 周夫 鈴木 良民
○白井 妙子 羽下 貢 佐藤 渉

小規模事業者事業継続支援金について 【商工観光課】

問 小規模事業者事業継続支援金について申し込み期限を迎えたことから五千六百五十万円を減額するということが、支援金の対象事業者数及び実績を伺う。

答 これまで行ってきた様々な給付金の申請件数の合計から、対象事業者を一、〇八〇件程度見込んでいたが、受付件数は五四三件である。

問 見込みの五割程度の受付件数ということでそれだけ事業者が一生懸命頑張っているということと思うが、事業者に対して申請期間中に再度案内を行ったのか、また申請期間の延長を検討したのか伺う。

答 周知はそれなりに行ったと

考えており、改めての案内はしていない。また申請期限の延長も現在は考えていない。

要望 非常に大きな金額が減額されているが、やはり改めて周知が必要だったのではないかと、予算の有効的な使い方を一度考えていただきたい。

橋梁管理事業について 【都市整備課】

問 市内に修繕の必要な橋は幾つあるのか伺う。

答 現在七十一橋である。

要望 高度経済成長期に造った橋が老朽化し、修繕の対応をできず、通行止めにする自治体もあるようなので、点検をする際には本当に修繕すべきものなのかを含め、取扱いについて検討していただきたい。

(◎委員長 ○副委員長)

当局報告

12月定例会において、市長から次のとおり議会で報告を受けました。

◇橋田小学校区の中学校進学先について【概要】

橋田小学校の卒業生の進学先を五泉北中学校に一本化することについて、5月に地域の皆さまにお伝えし、ご理解をいただくとともに、ご要望等もお聞きいたしました。

その後、現在、五泉中学校に在学している生徒やそのきょうだいの進学先の意向調査を行い、意向が確認できたことから、6月30日に2回目の説明会を開催いたしました。これまでの経過や意向調査の結果、また、通学バスについては、現在の五泉中学校区の生徒は通年のスクールバスを運行し、対応することを説明し、ご理解いただいたところであります。

10月18日には五泉市立小中学校学区調査審議会を開催し、五泉中学校と五泉北中学校の学区の再編成について、教育委員会から諮問し、審議の結果、「現在五泉中学校の通学区域である、橋田、門前、寺本、四十九、菅沢、尻上、宮古、大沢、西四ツ屋を五泉北中学校の通学区域に変更することが適当である。」との答申をいただきました。

これを受けまして、教育委員会での審議を経まして、このたび「五泉市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則」を制定したところであります。

今後につきましては、来年4月に児童の皆さんが予定どおりに進学ができるよう準備を進めていきたいと考えております。

一般質問

問 答

9人が市政を問う！

【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。

【編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。】

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで2月頃から閲覧いただけます。

問 五泉地区と村松地区の受益者負担金の格差について、直近では五泉地区の第五期事業計画区域で一平方メートル当たり五百三十七円、村松地区では第四負担区で百十円となっている。これは、旧五泉市、旧村松町において、事業費から交付された補助金額を控除、一方では補助対象金額を控除と異なる算出方法であるため、金額に違いがあると認識をしている。新たに区域を拡大する際には、この算出方法については、よくよく検討していく。

答 五泉地区と村松地区の受益者負担金の格差について、直近では五泉地区の第五期事業計画区域で一平方メートル当たり五百三十七円、村松地区では第四負担区で百十円となっている。これは、旧五泉市、旧村松町において、事業費から交付された補助金額を控除、一方では補助対象金額を控除と異なる算出方法であるため、金額に違いがあると認識をしている。新たに区域を拡大する際には、この算出方法については、よくよく検討していく。



下水道行政について
阿部 周夫 議員

問 一点目、公共交通の見通しが期待されているが、公共交通活性化協議会の開催の回数と議論内容。二点目、村松公園の老木となった桜の木の再生整備の対応策と予算額、また費用対効果などの進捗状況。三点目、城跡公園の蒲原鉄道の朽ち果てた状態の展示車両について、計画の中でクラウドファンディングと記載されているが、その状況。四点目、道路の側溝の蓋かけや消雪パイプの要望は多いと思うが、過去十年の町内会からの要望工事実施件数をそれぞれ伺う。

答 六月に開催された協議会で、バスとタクシーの両方の観点から、利用者にとつてより良い制度となるよう検討している。次に、村松公園の桜は「更新計画」を基に危険木の伐採等を行ってきたが、二期目の計画を策定し、事業を継続していく。展示車両の整備は、寄附金額三百二十九万八千円となり、十月に発注、来年春に竣工の予定である。次に、側溝の蓋かけ、消雪パイプの要望は、十年間で側溝整備要望件数は二〇〇件、着手済み一六二件、消雪パイプ要望件数は四十六町内会で、着手済みは十二件となっている。



各々の課題の取り組みの進捗状況について
羽下 貢 議員



視覚障がい者も安心して暮らせる五泉市を

波塚 静亮 議員

問 五月に視覚障がい者団体の方と一緒にいろんな要望を提出したが、その中で、ラポルテ五泉の誘導ブロックについての検討結果を、また音声血圧計については貸与でなく、音声体温計について一割負担で購入できるといふことなので、音声血圧計についても購入できるように補助いただきたいので、来年度の予算編成の中で実現できるか伺う。

答 誘導ブロックについては、設置に向けて検討している。また視覚障がい者の音声血圧計について、現在障がい者地域生活支援サービス費給付事業の中で、障がい者の日常生活がより円滑に行えるよう、日常生活用具給付を行っているが、いずれの障がい者の方に対して、血圧計は対象にしていない。今後日常生活用具給付の見直しについて、他市の状況を参考に、実施に向けて検討していきたいと考えている。



健康二次被害への取り組みと学校教育活動の制限緩和について

桑原 一憲 議員

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は第八波入りし、終息は見通せない状況であるが、感染症対策とともに健康二次被害を予防し、笑顔あふれる健康のまちづくりを推進するべきと考えるが、本市では健康二次被害予防のためどのような取り組みがなされているか、また学校教育においても感染症対策を徹底しながら活動制限を緩和し、元気で健やかな育成環境を取り戻すべきと考えるが、市内小中学校の授業及び学校行事の制限はどの様になっているか伺う。

答 市では、市民総合健診の結果説明会に来た人を対象に心のアンケート調査を実施し、その結果、体調の変化や心に不安を抱える傾向にある方に対し、保健師が個別に訪問を行ったり、電話による聞き取りや個別の相談に応じている。学校教育活動の制限緩和については、国や県からの指示により、学校生活における基本的な感染対策を行い、学校活動の制限を緩和し始め、今年度については、学校の年間行事を概ね中止することなく感染対策の下で実施している。



田辺市政約一年を経て

大橋 建太 議員

問 二〇二二年一月に田辺市政がスタートし、早くも一年が終わろうとしている。立候補時の公約に従い、各方面で五泉市のために日々尽力されていると思うが、十数年ぶりに市長が交代したことで、市民からは新しいこととどんどんやってくれるのではないかと期待値が大変高いと感じている。就任初年を間もなく終えるにあたり、この一年の成果と課題について伺う。

答 私自らが五泉のトップセールスマンとして取り組み、五泉を多くの方から知ってもらうため記者会見を毎月必ず開催している。またより多くの市政情報発信を心がけ、積極的にメディアに露出し、五泉市の文字を目にする機会が増えるよう努めている。また五泉ファンを増やすべく、春先からプロジェクトチームを組んで、ふるさと納税に取り組んでいるが昨年の同時期と比較すると、申込件数等増加しており、成果が徐々に形となって見えてきている。今後も新しい着想と発想を持って、活気あるまちづくりに尽力していく。



移住・定住の促進について

白井 妙子 議員

問 暮らしやすさや働きやすさを求めて、都心から地方の市町村に移住をする若い世代が増え、定年後には静かなところで暮らしたいと、移住を決められる方が増えている中、各自自治体で移住定住の問題に取り組んでいる。五泉市でも「十年後さらに輝く地域へ」を目標に、移住定住人口の増加に向けて取り組んでいるが、五泉に来て、知って、興味を持ってもらうため、五泉ならではの体験をしていただく必要がある。十年後輝く五泉にするため、何が必要で、何をすればよいか、見解を伺う。

答 首都圏等でのイベントによるPR活動やメディアへの露出増加などで、五泉の知名度を向上させていく。また、移住定住に関する情報は市のホームページやウェブサイトで発信しているが、年末年始に帰省した際に、五泉にUターンを考えている方に情報が伝わるように広報ごせんに特集記事を掲載する。今後も効果的な対策を研究し、実施することにより、五泉に移り住みたいと思えるまちづくりに努め、マーケティングを駆使して、短・中・長期のPDCAサイクルをもつて、さらに輝く五泉市を目指していく。



〇歳から二歳にかかる子育て支援について

山田 正良 議員

問 妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近で相談できることが特に重要であると考えます。また経済的支援が手薄と言われる三歳未満の時期に対する市の特色ある支援について伺う。次に、チャイルドシートは子供の成長に合わせて用意する必要があり、経済的負担となるため、市で支援すべきと考えます。また、子ども医療費助成制度について〇歳から二歳に係る医療費を無料とすべきと考えますが、それぞれ所見を伺う。

答 市では、妊娠届時に保健師等が必ず面談をし、そこから二歳くらいまでの間に一人につき十回程度は関わる機会があり、手厚く対応していると考える。経済支援として市独自の取り組みでは、出産サポートタクシーの事業や不妊治療費の助成及び不育症治療費助成は、県内トップクラスの助成内容であると認識している。チャイルドシートの購入助成は他市の状況などを注視したい。また、子ども医療費について、限られた財源の中で子育て支援施策全体の充実のために効果的な取り組み、優先すべき施策を見極め、その中でよく検討していく。



学校給食について

伊藤 昭一 議員

問 学校給食で子供の意識を変えようと同時に、親御さん皆さんの共感を得ることができるとは今行っている自校方式による学校給食であると思う。そのうえで、安心・安全なオーガニック給食、いわゆる有機農産物の導入をするべきではないか、今の五泉市は人口減少が大きな課題であり、オーガニック給食により、訪れてよし、住んでみたい五泉につながってくるのではないかと考える。オーガニック給食はまさに一丁目一番地であると思うが、当局の見解を伺う。

答 五泉市で有機農産物を生産している農家は一件であり、有機農産物を学校給食に安定的に提供することは、現状では難しいものと考えている。今後、有機農産物を提供することとした場合、地元生産農家との連携、協力が不可欠であると考えられる。そのため、まずは既に有機農産物を給食に取り入れている他市町村の先進例を参考にし、どのような課題や提供体制の整備が必要なのか、今後研究を進めていく。



移動式期日前投票所の
導入について

鈴木 良民 議員

問 移動式期日前投票所は車を使った移動式の期日前投票所で、平成二十八年七月の参議院議員選挙から島根県浜田市で初めて行われ、令和四年の参議院議員選挙では全国八十四の自治体の実施している。五泉市でも中山間地域の人口減少が著しく、高齢者世帯も増えており、交通手段のない有権者も多くなっている。身体の不自由な方、投票所に行きたいが行けない方のフォローについては十分に選挙管理委員会で論議されていると思うが、投票率向上のためにも移動式期日前投票所の導入をすべきであると考えるが、当局の見解を伺う。

答 五泉市では、これまでも県内の動向を踏まえ、県や他市町村の選挙管理委員会と情報交換を行っている。公平性の確保、二重投票の防止、人員の確保等の課題があるが、期日前投票所から距離が遠く移動手段の限られた方の投票機会の確保は、投票率向上につながることから、先進事例の移動式期日前投票所を参考に五泉市で取り組めるよう選挙管理委員会にお伝えする。

県内先進地調査報告

議会運営委員会委員及び当局担当課職員と、県内の先進地に研修に行っていました。

- 期 日 : 令和4年7月22日
 視 察 先 : 燕市・見附市
 調査項目 : 議会デジタル化に伴う、タブレットの導入について



燕市議会にて説明を受ける



見附市議会にて説明を受ける

請願について

— 次の請願を採択しました。 —

◆請願第 4

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願

発議について

— 次の発議を可決しました。 —

【送付先】内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆発議第 7 号

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める意見書

厚生労働省は、年金支給額を2013年10月から2015年4月までに3.4%を減額改定しました。その後も毎年のように削減が行われてきました。2020年度は、物価の伸びと比べて実質0.3%の削減となりました。2021年度は、名目手取り賃金変動率がマイナス0.1%となったため、年金も前年度比0.1%削減されました。さらに2022年度は、賃金変動率がマイナス0.4%となり、合わせて年金も0.4%削減されました。長引くコロナ禍で来年度以降も賃金変動率がマイナスになることが十分予想されます。

政府の計画では、少子化と平均余命の伸びを理由として、基礎年金は今後30年間にわたって30%も減額すると伝えられています。消費税増税や医療・介護保険料の負担増、物価の高騰も相まって、年金の削減は大きな打撃となっています。さらに生活保護に移行する高齢者も急増し、生きる糧としての食生活さえ切り詰めざるを得ない深刻な状態をもたらしています。

年金はそのほとんどが消費に回りますが、年金の削減は高齢者の購買力を低下させています。年金削減による購買力の低下と生活保護世帯への移行急増で、地域経済と地方財政に大きな影響を与えています。

このような高齢者の危機的状況を受けて、厚生労働省も基礎年金改善の検討を始めています。よって高齢者も若者も安心して暮らしていけるように、次の事項について要望します。

記

1. 高齢者も若者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額の改善をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月16日

新潟県五泉市議会

議長 林 茂

主な議案の議決結果【第8回 12月定例会】

【○：賛成，●：反対，－：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議案概要																			
			議員名(議席番号順)																			
			1大橋建太	2佐藤良徳	3山田正良	4波塚静亮	5深井邦彦	6桑原一憲	7白井妙子	8今井博	9(欠番)	10佐藤浩	11長谷川政弘	12伊藤昭一	13佐藤利涉	14牛腸利栄	15鈴木良民	16熊倉政一	17剣持雄吾	18羽下貢	19阿部周夫	20林茂
議第93号	五泉市議会議員及び五泉市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第94号	五泉市議会議員及び五泉市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第95号	五泉市議会議員及び五泉市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第96号	五泉市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第97号	五泉市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第98号	五泉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第99号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第100号	五泉市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第101号	五泉市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第102号	五泉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第103号	五泉市チャレンジランド杉川条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第104号	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第105号	市道の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第106号	損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第107号	令和4年度五泉市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第108号	令和4年度五泉市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第109号	令和4年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第110号	令和4年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第111号	令和4年度五泉市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第112号	令和4年度五泉市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第113号	五泉市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第114号	五泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第115号	五泉市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第116号	五泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第117号	五泉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第118号	令和4年度五泉市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第119号	令和4年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第120号	令和4年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第121号	令和4年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第122号	令和4年度五泉市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議第123号	令和4年度五泉市下水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第4号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	採択	●	○	●	○	●	—	○	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	
発議第7号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書の提出について	可決	●	○	●	○	●	—	○	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	

※1 法律に特別の定めがある場合を除くほか、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっていません。

～五泉市議会議員も普通救命講習を受講いたしました～

令和4年11月10日(木) 消防本部3階講堂



訓練人形を使用した
心肺蘇生法とAED操作方法講習



編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお喜びを申し上げます。また、日頃から市議会へのご理解とご協力、ご意見を賜り、誠にありがとうございますとございます。今年の干支は、癸（みずのと）卯（うさぎ）年です。本年はコロナ禍から脱して大きく「飛躍」し、生活が豊かに「向上」する年になって欲しいものです。

内閣府の調査によれば、孤独・孤立が進行しており、意外にも三十代で最も多く、有識者いわく「人と人との緩やかなつながりを築けるような地域づくり」を推進すべきとのことです。

震災時の「絆」を思い起こした。

私たち市議会議員も決意を新たに、大きな耳で小さな声を傾聴し議論を進め、市民の皆様の気持ちや想いを反映させた議会広報の掲載を心がけてまいります。

■広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 山田 正良 |
| 副委員長 | 佐藤 良徳 |
| 委員 | 阿部 周夫 |
| 委員 | 鈴木 良民 |
| 委員 | 佐藤 良民 |
| 委員 | 白井 妙子 |
| 委員 | 深井 邦彦 |

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911